

町田 由起子（まちだゆきこ）



☆就業している分野

飲食業

☆信州おもてなしマイスターとして自分が目指しているおもてなし

【人と人を紡ぐおもてなし】を目指しています。

私達は善光寺の程近く、ぱていお大門 蔵楽庭「日本料理・そば懐石紡ぎ」で、和をもってお客様をおもてなしいたします。

私達の志は「生きる糧となる、記憶に残る時間・料理・おもてなしのある紡ぎで在り続けること」そして、「紡ぎに関わってくださる皆様が、人生をより輝かせ、お互いに応援し合える社会の実現を目指す」です。

生産者さんの想いや匠の食材をお届けし、皆様が大切な方と安心して笑い合い、時に悲しみを分かち合える場所で在り続けます。

私の実家もりんご農家です。信州の自然の豊かさや農業の大変さ、喜びを幼いころからずっと見て育ちました。

そこにはかけがえのない家族の時間や、地域の方々との交流があります。共に体を動かし、汗をかき、五感を研ぎ澄ますことで、生きる喜びを感じることができます。

この生きる喜びは、人と関わり、人の優しさから生まれるものです。

人と人との繋がりがあって、思い合い、理解し、尊重し、またそこからご縁が広がっていく。私はそのご縁を紡いでいきます。

信州には素晴らしいおもてなしマイスターの方々がいっぱいます。

信州を愛する素敵な方々もたくさんいらっしゃいます。

笑顔溢れるおもてなしを、命をより輝かせるおもてなしを

心を尽くし、想いを尽くし、知恵を尽くして、多くの方と紡いでいきます。

☆実施したおもてなしの事例

私達は直接生産者様のもとへ行き、食材だけでなく、農業やその食材への想いを受け取ります。受け取った想いを、信州の素晴らしさと共にお客様に提供しています。

また、地元の養護学校の陶芸班と連携して、若きクリエイターさんたちが作る素晴らしい作品と想いをお客様に発信しています。

紡ぎで使う箸置きと豆皿は長野県立長野養護学校の陶芸班「うわの窯」さんの作品です。

ひとりひとりができる作業を紡いでいって完成したあたたかな器には「夢は世界の食卓へ」という願いが込められています。

お客様からの喜びのお声を若きクリエイターさんにもお伝えし、モノづくりの喜びを育て、一緒に世界発信していきます。

☆講習会、研修会等の講師実績